

5月の授業記録をお送りいたします。

向夏の候——ご父母各位におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

晴天の続いた時節から早くも季節は移ろい、梅雨の訪れであります。すっきりしない空模様が続く折、咲き誇る美しい紫陽花に滴る雨露が疲れた眼を癒す今日この頃でございます。さて、所沢市内の各中学校では先月1学期の中間試験を終えたかと思うと、今度は来月上旬に1学期の期末試験が近づいている学校が多くございます。比較的テストの間隔が短くなる学校は、試験範囲は狭くなるとはいえ、その分密度の濃い出題がなされ、生半可な学習では通用しないという事態も予想されます。ご承知のように、当塾では「定期試験対策」を試験1週間前より連日実施しておりますので、ぜひご父母各位におかれましては、お子様に対して、ぜひ積極的に塾を活用して来たる試験へ向けしっかりと備えるようにお声がけをお願いいたします。

また中3受験生の中には、部活動の引退を迎えたお子様もいらっしゃるかと存じます。通常の授業以外の曜日・時間帯であっても、教室の自習スペースを随時開放しておりますので、ご家庭での学習が捗っていないようであれば、ぜひとも教室へお預けください。「受験生としてどういった学習が必要なのか」「今、すべきことは何なのか」など、本格的に受験勉強へ向かおうとする1人1人のお子様に対し、真摯に向き合いながら丁寧に指導してまいります。



■塾からのご案内■

① 今月下旬～7月上旬に「保護者対象・個別面談」を実施します。

今月下旬～7月上旬にかけ、在塾する小中学生の保護者各位を対象に、「個別面談」を実施させていただきます。教室長との「1：1」の形式で、お1人様につき約40分をおとりいたします。

塾での学習状況や今後の学習の展望、進路にまつわご相談など幅広くお話をさせていただきたいと思えます。詳細に関しましては、各ご家庭にお送りした「ご案内状」をご覧ください。

※) 万が一ご案内がお手元に届いていない場合は、教室までご請求ください。

② まもなく、「夏期講習のご案内」を各ご家庭に送付いたします。

今年の夏期講習は7月25日(水)～8月31日(木)の間、正味28日間実施いたします。「夏期講習のご案内」が完成しましたら速やかに各ご家庭に送付いたしますので、講習の詳細についてはそちらで内容をご確認ください。なお、塾より「受講のご提案」も添えさせていただきますので、そちらにもお目通しをいただければ幸いです。

学習のアドバイス

今回のテーマは国語の「漢字の覚え方」です。漢字を効率よく覚えていくには3つのコツがあります。

1つめは「回数ではなく頻度を増やす」ということです。どんなに難しい字でも、その場限りでいいのであれば、個人差はあるでしょうが5回ぐらいで覚えることはできます。しかし、大切なのはテスト本番あるいは入試本番で覚えていることです。その場限りの“暗記”ではなく“記憶”にしなければなりません。そのためには覚える頻度を増やすことです。一度に15回書くのではなく、朝昼晩の3回に分けて5回ずつ練習してください。

2つめは「意味を考えながら覚える」ということです。人は意味のないものを覚えることが苦手です。だから、歴史の年号や英単語のスペルなどを語呂合わせで覚えたりするわけです。漢字を覚えることが苦手な人は、意味を持っている漢字を意味のない記号として認識しているために覚えられないのです。「いちいち意味を調べるのは面倒だ」と思う人がいるかもしれませんが、定着の度合いが全然違いますので、是非意味も一緒に覚えてください。余裕がある人は、漢字の成り立ちも調べてみると更に理解が深まり忘れにくくなります。

3つめは、2つめと関連があるのですが「訓読みで覚える」ということです。訓読みは日本で作られた日本語の読み方ですので音声だけで意味が理解できます。一方、音読みは中国から伝わってきた中国語の読み方ですので音声だけでは意味が理解できませんし、同じ読み方をするものも圧倒的に多く存在します。ということは、訓読みで覚えれば意味を調べる手間が省けますので、効率よく学習を進めることができるはずです。

最後に漢字の学習に役立つ本を紹介しておきますので興味のある人は読んでみてください。

- ① 「白川静博士に学ぶ楽しい漢字学習」(小学1年生～6年生) 福井県教育委員会【編集】平凡社
- ② 「下村式唱えて覚える漢字の本」(小学1年生～6年生) 下村昇【著】偕成社

平成28年度入試を振り返って ③

前回は県内私立高校の応募状況について分析しましたが、いかがでしたでしょうか。今回は県立高校入試の難易度について、平成28年度入試の平均点をもとに分析してみたいと思います。

全体の平均点は269.4点で昨年度より10.3点上がりました。科目別の平均点は、国語が57.9点、数学が51.1点、社会が63.7点、理科が39.2点、英語が57.4点です。国語と数学と英語は若干上がりましたがほぼ昨年並みでした。昨年度と比べて大きく変化したのは社会と理科です。社会は15点ほど上がり、理科は11点ほど下がりました。社会はしばらく50点前後で落ち着いていたのですが、今回は全体的に易しかったようです。理科については大問で扱う分野が毎年違うため、ある程度上がったり下がったりするのは仕方ありませんが、平成25年度は63.4点で今回は20点以上の差があることを考えると、もう少し安定した結果が望まれるところです。

教育委員会が発表した予想平均点は263点でしたので、合計ではそれほど外れていないようですが、科目ごとに見てみると予想通りとは言えませんでした。来年度は入試の形態が大きく変わりますので、この結果を踏まえて問題が練り直されると思われます。参考にしてください。

教室長日記

勉強と部活の両立は難しい

5月の下旬から6月上旬にかけては定期テストと部活の大会が続いてとても大変だったと思いますが、結果はどうでしたか? 納得できる成績でしたか? もしも自分が望むような成績が取れなかった人は、やり方が悪かったということですから、その問題点をきちんと見つめ直し、改善して次のテストあるいは大会に臨んでください。

ところで、普段の勉強と部活の練習を同じように考えて、同じように取り組んでいる人はいませんか。どちらも“本番(テストや大会など)で結果を出す”ことを目標にしている点では似ていますが、その“結果を出す”この意味が全く違います。スポーツや芸術に完璧はあり得ません。全盛期のイチローでさえ、全打席の6割以上はヒットが打てませんし、どんなに有名な作家でも、すべての作品がベストセラーというわけにはいきません。だから、失敗することを前提として成功する確率を上げていくために練習するわけです。逆に、勉強は完璧を目指さなければいけません。勉強で身につける教養は日常生活で必要なものですから、いつでもできなければ役に立ちません。この違いが、勉強と部活の両立を難しくしている原因ではないかと思えます。気が緩みそうなときは“勉強に妥協は禁物だ”ということを肝に銘じて頑張ってください。(東所沢校 安斎)

北辰テスト及び過去問題のご案内

中3受験生を対象に、4月より北辰テストが実施されております。来年の1月まで(8月を除いて)毎月計実施されます。すでにご承知の方もいらっしゃるかと存じますが、**当塾から北辰テストのお申し込みが可能**でございます。また当塾では《通常授業で受講している教科の北辰テストの過去問題(昨年度)》を無料でさしあげております。また、通常授業で受講されていない教科の過去問題は実費(数学のみ600円・その他の教科は700円)をいただければお渡しすることができます。入念な準備をしてテストに臨むために過去問題は**大変重要なツール**ですので、**受験生は5教科の過去問題をなるべく早めにそろえておく**ことをお勧めいたします。

個別指導会の各教室では、試験の直前に「北辰テスト対策」を実施しております。実施の詳細は教室ごとに異なっておりますので、詳細は各教室までお問い合わせください。

中3受験生とご家庭へ「彩の国 進学フェア」のご案内

■日時 7月16日(土)・17日(日) 10:00～17:00

■会場 さいたまスーパーアリーナ ※入退場自由・予約不要・入場無料

埼玉県内の公立高校及び県内外の私立高校の約300校(ほぼすべての学校)の担当者が一堂に集まり、ご参加の方に対して自校の紹介や入学・進路相談を行います。このフェアを通じ、受験生とご家庭にとって重要な、「どこにどんな学校があり、どんな教育内容を提供しているか」をしっかりと把握することができます(ただし、成績表をお持ちになっても、その場で入学を保証するようなことを尋ねることはできませんので、その点ご注意ください)。主な対象は中学3年生とその保護者の方ですが、その他の学年でもご参加は可能でございます。また、例年多くの方が参加されるので、当日は大変混み合うことをあらかじめお含みおきください。詳細は、<http://ysmedia.jp/>にアクセス、もしくは「彩の国 進学フェア」で検索してみてください。